

教育の国際化

語学指導等を行う外国青年招致事業（JET プログラム）

JET プログラムは、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme) の略称で、外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的として、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会の協力の下に地方公共団体等が外国青年を招致する事業であり、昭和 62 年度の開始以来、令和 7 年度で 39 年目を迎える。

令和 7 年度の JET プログラムでは、本県において 145 名の外国青年が、語学指導助手(ALT : 138 名)、国際交流員(CIR : 7 名)として県内の自治体に任用された。語学指導助手は全員、英語の指導助手として、日本人教員とともに県立中学校・高校(37 名)や市町村教育委員会(小中学校 99 名)、私立学校(2 名)で英語の指導に当たっている。国際交流員は県(4 名)と福島市、伊達市、本宮市で国際交流事業の企画運営などに携わっている。

JET 参加者は、本県滞在中は、単に語学指導等の本業のみにとどまらず、広く地域社会の国際理解に貢献しており、また、帰国後は母国とわが国との架け橋として活躍している。

JET 招致人数の推移

(令和 7 年 12 月末日現在)

	S62～ H28 累計 (小計)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	累計 (合計)
ALT	3,175	134	142	142	99	134	139	137	138	138	4,378
CIR	113	7	9	9	7	7	8	9	9	7	185
SEA	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
計	3,293	141	151	151	106	141	147	146	147	145	4,568

国別の招致人数(ALT+CIR+SEA)の推移

(令和7年12月末日現在)

	S62～ H28 累計 (小計)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	累計 (合計)
米国	1,451	63	65	67	52	66	72	73	69	67	2,045
英国	517	22	27	25	12	19	22	26	26	27	723
カナダ	544	21	23	25	19	22	20	17	18	18	727
オーストラリア	384	13	14	15	12	12	11	9	9	7	486
ニュージーランド [※]	227	9	9	8	4	9	9	7	7	6	295
アイルランド [※]	41	4	5	4	1	3	3	2	1	1	65
中国	23	1	1	1	1	1	0	1	1	1	31
フィリピン	0	0	1	1	1	4	4	3	7	10	31
南アフリカ	30	3	2	2	1	2	3	3	3	3	52
ジャマイカ	30	2	0	0	0	1	1	2	3	3	42
トリニダード・トバゴ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
シンガポール	18	0	1	0	0	0	0	0	0	0	19
インド	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
バルバドス	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
フィンランド [※]	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
トンガ	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
ガーナ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
オランダ	4	2	2	2	2	1	1	1	1	0	16
ドイツ	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
計	3,293	141	151	151	106	141	147	146	147	145	4568

(国際課調べ)

在外教育施設派遣教員数

令和7年度において、12名の教員(小学校6名、中学校6名)が日本人学校(在留邦人団体を母体とし、国内の小学校又は中学校と同等の教育を行う全日制の教育施設)に派遣されている。

派遣先	派遣人数	派遣者職名	派遣期間
パース	1	小学校教諭	R5.4.1~R8.3.31
広州	1	中学校教頭	R5.4.1~R8.3.31
ブノンペン	1	中学校教諭	R5.4.1~R8.3.31
ニューヨーク	1	小学校教頭	R6.4.1~R8.3.31
シラチャ	1	小学校教諭	R6.4.1~R8.3.31
ブラハ	1	小学校教諭	R6.4.1~R8.3.31
パナマ	1	小学校教諭	R6.4.1~R8.3.31
シドニー	1	小学校教諭	R7.4.1~R9.3.31
台北	1	中学校教諭	R7.4.1~R9.3.31
ジャカルタ	1	中学校教諭	R7.4.1~R9.3.31
マドリッド	1	中学校教諭	R7.4.1~R9.3.31
高雄	1	中学校教諭	R7.4.1~R9.3.31

(令和7年4月1日現在 義務教育課調べ)

国際理解教育・国際交流

(1) 国際姉妹校

国際姉妹校は県内に11組ある。なお、姉妹校交流という形はとらないまでも、生徒の相互派遣をしている学校も少なくない。

学校名	姉妹校名	国	提携年度	活動状況
会津坂下町立坂下東小学校	ホベルト・ノリオ小学校	伯	H27	文通・作品交換、姉妹校訪問等 (現在休止中)
会津若松市立東山小学校	ゴールドトレイルスクール	米	S55	不定期で文通・作品交換、姉妹校訪問等
棚倉町立棚倉中学校	カーディフハイスクール	豪	H元	姉妹校訪問
南相馬市立石神中学校	ロセットスクール	英	S62	姉妹校訪問、児童生徒受入等 (2年に一度の交流、令和2年度~令和6年度は新型コロナの影響により中止) 郵送物(手紙)による交流
福島高校	プリンセス チュラボーン サイエンス ハイスクール ナコン シー タマラート	泰	R4	生徒・教員の交流及び学習の協力、現地交流訪問、オンライン交流
福島南高校	ケステブン・グランサム女子中等学校	英	H5	姉妹校訪問
須賀川桐陽高校	メイトランド・グロスマンハイスクール	豪	H3	
白河旭高等学校	台湾国立新竹女子高級中学	台	R7	姉妹校訪問
田村高校	ライスレイクハイスクール	米	H12	オンライン交流
喜多方市立山都小学校	吉林省長春市西五小学校	中	H20	作品交換等(現在休止中)
大玉村立大玉中学校	桃園市立大竹國民中學	台	H29	姉妹校訪問等

(令和7年12月現在 義務教育課・高校教育課調べ)

(2) 県立高校による国際交流

①教育課程(科目名:国際交流)に位置付けられたもの(令和7年度)

学校名	行き先	訪問都市	日数	出発日・帰着日	参加生徒数	引率者数
福島南高校	英国	グランサム他	13	7月4日(金)～7月16日(水)	20	2
あさか開成高校	オーストラリア	ゴールドコースト他	12	7月11日(金)～7月22日(火)	16	2
郡山高校	フィリピン	マニラ	8	2月15日(日)～2月22日(日)	46	1

(令和7年12月 高校教育課調べ)

②「震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業」において行うもの(令和7年度)

学校名	行き先	訪問都市	日数	出発日・帰着日	参加生徒数	引率者数
安積高校	台湾	台北他	5	12月7日(日)～12月11日(木)	5	2
あさか開成	台湾	台北他	6	12月1日(月)～12月6日(土)	6	2

(令和7年12月 高校教育課調べ)

③その他(令和7年度)

学校名	行き先	訪問都市	日数	出発日・帰着日	参加生徒数	引率者数
あさか開成	中国	漳州市他	5	10月21日(火)～10月25日(土)	18	4
安積高校	台湾	台北他	5	12月7日(日)～12月11日(木)	5	1
磐城高校	台湾	高雄他	4	12月9日(火)～12月12日(金)	3	1
白河旭高校	台湾	台北他	4	12月9日(火)～12月12日(金)	15	2
福島高校	タイ	パトゥムターニー	7	12月15日(月)～12月21日(日)	4	2
福島高校	カンボジア	プノンペン	5	12月21日(日)～12月25日(木)	2	1
会津学鳳高校	台湾	台北他	5	12月22日(月)～12月26日(金)	22	2
会津高校	台湾	台北他	5	1月5日(月)～1月9日(金)	20	2
ふたば未来学園高校	ドイツ	フライブルク他	11	1月5日(月)～1月15日(木)	10	2
安積高校	ドイツ	デュセルドルフ他	8	1月12日(月)～1月19日(月)	5	2
ふたば未来学園高校	米国	ニューヨーク	9	3月14日(土)～3月22日(日)	12	3

(令和7年12月 高校教育課調べ)

(3) 県立中学校による国際交流

①令和7年度

学校名	行き先	訪問都市	日数	出発日・帰着日	参加生徒数	引率者数
ふたば未来学園中学校	ニュージーランド	オークランド	7	3月3日(火)～3月9日(月)	42	7

(令和8年3月 義務教育課調べ)

(4) 海外への修学旅行

平成10年度からは、県立高校の海外修学旅行が可能になった。令和3年度以降の実績は次のとおり。

高校名	R3	R4	R5	R6	R7
安積	(台湾中止)	(台湾から国内へ変更)		台湾	
あさか開成		(台湾から国内へ変更)		グアム	韓国

(高校教育課調べ)

<私立>

高校名	R3	R4	R5	R6	R7
学校法人松韻学園 福島高等学校					シンガポール
福島成蹊高等学校			マレーシア・カタ	マレーシア・台湾・ベトナム・カンボジア	マレーシア・台湾
桜の聖母学院高等学校					カタ
福島東稜高等学校					
聖光学院高等学校					
郡山女子大学附属高等学校					
帝京安積高等学校					
尚志高等学校					
日本大学東北高等学校					
学校法人石川高等学校			台湾・オーストラリア	台湾・オーストラリア	台湾・オーストラリア
会津北嶺高等学校					台湾
会津若松ザベリオ学園高等学校				シンガポール	
仁愛高等学校					
福島県磐城第一高等学校	(ハワイ中止)		台湾	台湾	
磐城緑蔭高等学校					
東日本国際大学附属昌平高等学校			グアム	グアム	
いわき秀英高等学校				フランス	スウェーデン・フィンランド

(私学・法人課調べ)

(5) 朝河貫一賞

朝河貫一賞は、県内の中学高校生を対象に国際理解・国際交流に関する論文を募集し、表彰するもので、平成3年に創設された。世界の様々な文化や価値観を尊重し国際社会の平和と発展を担うことのできる国際性豊かな青少年を育成することを目的としている。

他国の現状を様々な角度から分析し、日本と他国との関わり方から自己の生き方を見つめたり、国際交流の在り方について思考を深めたりするなどの作品が多く見られる。

(義務教育課)

(6) ふくしまの高校生海外留学応援事業

福島県出身の世界的歴史学者である朝河貫一博士にならい、これからの社会に必要となる世界的な広い視野を持ち、国際的リーダーとなるための人材を育成するため、米国の大学への留学を支援する。

高校在学中は、大学入学のための進路指導及びカレッジスキル等を育成する留学準備プログラムを行う。また、対象大学への入学決定後は、学費等の支援として、年間最大380万円を入学より4年間支給する。

(7) ふくしまの未来を担うグローバル人材育成事業

文部科学省と独立行政法人日本学生支援機構が実施する官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム～拠点形成支援事業において、本県の「ふくしまの未来を担うグローバル人材育成事業」が採択された。拠点形成支援事業とは、高等学校段階からグローバル人材の育成に取り組む留学モデル拠点地域を全国につくり、「地域にイノベーションを起こすグローバル探究リーダー」を育成することを目的に、高校生などが自ら計画を立てて、海外で主体的に行う探究活動を支援するものである。

令和6年度に、県教育委員会を事務局として、産学官と共創した「ふくしまの未来を担うグローバル人材育成事業」地域協議会を設立した。令和7年度から留学生の派遣を開始し、福島県内の30名の高校生等の海外留学を支援した。

(8) UCLプログラム派遣事業

平成27年7月に福島県と覚書を締結しているロンドンの総合大学「UCL (University College London、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)」が実施する「UCL-Japan Youth Challenge 2025」に本県の高校生を派遣し、グローバルな視点で本県にイノベーションを起こすグローバル・リーダーの育成を図ることを支援する。

令和7年度は、福島県内の高校生の中から選ばれた生徒3名及び引率教員1名がプログラムに派遣された(福島高校、会津学鳳高校、磐城高校の各校から1名)。旅行期間は、出発日：7月24日(木)～帰着日：8月4日(月)の12日間だった。

(9) WWLコンソーシアム構築支援事業

福島における原子力災害からの復興を果たし、持続可能な社会を創造していくグローバル・リーダーの資質・能力の育成に取り組む福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校を事業拠点校に指定し、探究と海外研修を軸とし、また、大学と連携したグローバル人材育成のカリキュラムの開発・実践、その体制整備を支援する。県内外におけるグローバル人材育成を担う連携校や国際機関等とも目的と情報を共有し、ネットワークを形成していく。

令和7年度における事業拠点校での海外研修は、米国、ドイツ、ニュージーランドで実施された。令和7年度は事業最終年度にあたり、「福島県WWL高校生国際サミット」が開催され、事業拠点校・連携校の生徒が、フィリピンやイスラエルの高校生や県内在住の外国人等を交えたグループセッションを経て、未来への提言を行った。

(高校教育課)

県内大学の国際交流

(1) 会津大学

① 海外の大学との協定および覚書等 (令和7年12月末日現在)

国名・地域	協定先(大学名等)
一般協定・覚書	
ロシア	サンクトペテルブルグ大学、サンクトペテルブルグ工科大学
中国	上海大学、上海交通大学、東北大学秦皇島分校、東北大学、大連東軟信息学院、華中科技大学、ハルビン工業大学深圳校、中国地質大学、深圳大学、燕山大学、桂林電子科技大学
台湾	淡江大学、朝陽科技大学、国立中央大学天文学大学院、国立東華大学、国立暨南国際大学、国立台中科技大学、国立台湾科技大学
韓国	高麗大学、ハリム(翰林)大学
米国	ローズハルマン工科大学
ドイツ	デュッセルドルフ専門大学、カールスルーエ応用科学大学、オストバイエルン・レーゲンスブルク応用科学大学
ベトナム	FPT大学、ベトナム国家大学ハノイ国際外国語大学、郵政通信技術学院、ハノイ工科大学、ベトナム国家大学ハノイ校工科大学、ベトナム国家大学ホーチミン市国際大学、ダナン工科大学
インド	インド工科大学デリー校、インド MIT プネ芸術デザイン工科大学、インド工科大学ハイデラバード校、アショーカー大学、国際情報科学大学ハイデラバード校、国立工科大学デリー校、インド経営工学学院、ハイデラバード大学、インド工科大学カンプール校、O.P. ジンダル・グローバル大学、マダナパレ工科大学
ニュージーランド	ワイカト大学
エストニア	タリン工科大学
タイ	モンクット王トンプリー工科大学、チュラロンコーン大学、タマサート大学、マヒドン大学
コロンビア	ハベリアナ科学技術大学カリ校、イセシ大学
チュニジア	カルタゴ大学
ブルガリア	ソフィア大学、ソフィア工科大学
ギリシャ	西マケドニア大学
スリランカ	スリランカ日本情報科学短期大学
ルクセンブルグ	ルクセンブルグ大学
デンマーク	コペンハーゲン IT 大学
マレーシア	マレーシア科学大学、トゥンク・アブドゥル・ラーマン経営技術大学
国際単位認定(ICRP)・デュアルディグリープログラム(DDP)・学部2+2プログラム(2+2; ICT グローバル編入学)・博士前期課程1+1プログラム(1+1)、グローバル3+2プログラム(3+2)	
中国	上海大学(1+1)、華中科技大学(DDP)、東北大学(3+2)、東北大学秦皇島分校(3+2)、中国地質大学(3+2)
米国	ローズハルマン工科大学(ICRP)
韓国	ハリム大学工学部大学院(DDP)
台湾	朝陽科技大学(DDP)、淡江大学(DDP)
ベトナム	郵政通信技術学院(1+1)、ベトナム国家大学ハノイ校工科大学(2+2・3+2)

ドイツ	カールスルーエ応用科学大学 (ICRP)、オストバイエルン・レーゲンスブルク応用科学大学 (ICRP)、デュッセルドルフ専門大学 (ICRP)
その他	
中国	「大連・福島の産学協同 IT 人材育成モデルの一般協定」(大連東軟情報学院、会津大学、アルプスアルパイン株式会社)
タイ	「タマサート大学とバンプーパブリック株式会社間の一般協定」(タマサート大学、会津大学、バンプーパブリック株式会社)

② 海外の姉妹校 (令和7年12月末日現在)

該当なし

③ 留学・研修制度での派遣受入 (令和7年度)

国名・地域	協定先 (大学名等)	人数 (名)
派遣		
米国	ローズハルマン工科大学	5
ニュージーランド	ワイカト大学	4
マレーシア	マレーシア科学大学	7
中国	大連 (大連東軟情報学院)	4
ドイツ	カールスルーエ応用科学大学	1
	オストバイエルン・レーゲンスブルク応用科学大学	1
ベトナム	ダナン (FPT大学)	4
受入		
ドイツ	カールスルーエ応用科学大学	4
	デュッセルドルフ専門大学	3
	オストバイエルン・レーゲンスブルク応用科学大学	2
台湾	朝陽科技大学	6

④ 令和7年度の上記以外のその他国際交流事業

・開学以来、国際的な学術共同研究の実績を積み上げ、コンピュータサイエンスの分野において学術振興を図るため、国際ワークショップ、国際学術会議及び国際学術セミナーを開催している。令和7年度には「Big-data-analytics in Astronomy, Science and Engineering (BASE)をはじめ、3件の国際会議を会津大学教員が主催した。

・2025年7月9日～11日にJapan Society主催のJunior Fellows Leadership Programにおいて、米国の高校生が来学した。本学教員による特別講義を受講した他、本学学生及びふたば未来高校生と交流を行った。

・2025年10月11日と12日の会津大学オープンキャンパスにおいて、会津大学の国際多様性を周知することを目的に、グローバルラウンジを開放し、地域の人を含めた来場者に留学生との会話を楽しんでもらったり留学の相談に応じたりした。

・「2025年度ふくしま未来創造プログラム」を実施した。2025年7月12日にBasic Study Tourを実施、会津大学の日本人学生と留学生は、コミュタン福島の視察とIAEA職員による専門講義を受講した。2026年1月24日にはAdvanced Study Tourを実施する。会津大学とふたば未来学園高等学校の日本人学生及び留学生が参加し、東日本大震災及び原子力災害からのふくしまの復興・再生についてフィールドワークや振り返りワークショップを通じて学ぶ。

⑤ 外国人教員 令和7年12月末日現在

〈教員〉専任教員108名のうち外国人教員は39名(36.1%)

外国人教員の出身国は、中国8名、ロシア3名、カナダ2名、インド4名、韓国3名、

ベトナム 4名、米国 1名、エジプト 1名、チュニジア 1名、フランス 1名、ブルガリア 1名、台湾 1名、コロンビア 1名、ニュージーランド 1名、英国 2名、オーストラリア 2名、イタリア 1名、マレーシア 1名、スリランカ 1名の計 19 の国・地域

(2) 県立医科大学

① 海外の大学との協定および覚書等 (令和 7 年 12 月末日現在)

国名・地域	協定先 (大学名等)
米国	マウントサイナイ医科大学
	オハイオ州立大学放射線腫瘍学講座
	ハーバード T.H.Chan 公衆衛生大学院
ベトナム	ホーチミン市医科薬科大学
シンガポール	シンガポール国立大学医学部
台湾	国立台湾大学医学院
中国	武漢大学
ドイツ	ユリウス・マクシミリアン大学ヴェルツブルク (ヴェルツブルク大学)

② 海外の姉妹校 (令和 7 年 12 月末日現在)

該当なし

③ 留学・研修制度での派遣受入

国名・地域	協定先 (大学名等)	人数 (名)
米国	マウントサイナイ医科大学	2
台湾	国立台湾大学医学院	1
エジプト	国際医学生連盟 (IFMSA)	1

④ 令和 7 年度の上記以外のその他国際交流事業

ア 国際原子力機関 (IAEA: International Atomic Energy Agency) との協定

平成 24 年 12 月、人の健康の分野における協力に関して協定を締結。

協定の主な内容は以下のとおり：

- ・ IAEA による福島健康管理調査プロジェクトの実施支援。
- ・ IAEA 及び本学による、人の健康プログラム (放射線緊急医療を含む) に関する能力開発及び研究協力。
- ・ 会議、セミナー及びワークショップの開催。
- ・ 専門家による支援及び情報の交換等。
- ・ “Rays of Hope” プロジェクトへの協力

研究者の往来数、或いは国際会議共同開催実績等

年度	国際会議共同開催実績等
令和 6 年度	・ IAEA コンサルタンシーミーティング (福島: 3 月 12 日～13 日) を共同開催
令和 7 年度	・ IAEA テクニカルミーティング (千葉: 8 月 29 日～30 日) に本学教員 4 名が講師として参加

イ 国際放射線防護委員会

(ICRP: International Commission on Radiological Protection) との協定

平成 26 年 2 月、放射線防護のシステムに関連する情報・アドバイスの提供等に関して協定を締結。

協定の主な内容は以下のとおり：

- ・ ICRP による放射線防護のシステムに関連する情報・アドバイスの提供。
- ・ 本学による情報やアドバイスの提供。
- ・ 本学による後方支援の提供。
- ・ 両者による共同事業の開発、等。

ウ 世界保健機関 (WHO: World Health Organization) との協定

平成 30 年 5 月、ふくしま国際医療科学センターが世界保健機関協力センターに指定を

受ける。

世界保健機関協力センターとしての主な協力内容は以下のとおり：

- ・緊急被ばく対応に関する各国能力強化。
- ・原子力緊急事態により影響を受けた人々に対する事故後復興期及び長期的フォローアップ。
- ・放射線災害準備及び対応に関する教育・訓練・情報の普及 等。

エ 放射線医学県民健康管理センター

「県民健康調査」国際シンポジウムの開催。主な内容は以下のとおり：

- ・令和7年2月20日【テーマ：ふくしまの経験を未来へ：健康増進と災害対応】
- ・海外からの専門家1名参加（台湾）

オ 韓国原子力医学院（KIRAMS）との協定

令和7年2月25日締結。核医学と原子力災害医療の両分野における人材交流を促進することを目的とした協定を締結。

協定の主な内容は以下のとおり：

- ・アルファ線核種アスタチンによるがん治療など核医学の診断ならびに治療の研究開発と臨床に関する情報共有と人材交流（核医学分野）
- ・原子力災害医療分野における体験型講座・実習・セミナー
- ・ワークショップなどの相互参画や国際会議を通じた、当該領域の知見共有と協力関係構築（放射線災害医療学分野）

研究者の往来数、或いは国際会議共同開催実績等

年度	国際会議共同開催実績等
令和7年度	・FMU-KIRAMS 国際シンポジウム（韓国：12月12日～13日）を共同開催 本学教員6名参加

カ Sunrise Japan Hospital Phnom Penh との協定

令和7年10月27日締結。医学と人材育成における相互理解を促進し、両組織の協力を発展させることを目的とした協定。

協定の主な内容は以下のとおり：

- ・教育、研究、臨床、協議のための教職員等の訪問及び交流
- ・共同研究活動およびシンポジウムの開催

⑥ 外国人教員 令和7年12月末日現在

〈教員〉専任教員803名のうち外国人教員は、7名（0.9%）

外国人教員の出身国は、中国3名、英国1名、米国2名、ブルネイ1名

(3) 福島大学

① 海外の大学との協定および覚書等（令和7年12月末日現在）

国名・地域	協定先（大学名等）
インドネシア	シアクアラ大学
韓国	韓国外国語大学校、ソウル市立大学、中央大学校、培材大学校
中国	北京師範大学、華東師範大学、河北大学、中南財經政法大学、西南交通大学、重慶理工大学
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学、サン・カルロス大学
ベトナム	ベトナム国家大学 ハノイ人文社会科学大学、ベトナム国家大学 ハノイ自然科学大学、ホアセン大学、トゥイロイ大学
マレーシア	マレーシア国際イスラム大学
モンゴル	モンゴル生命科学大学
台湾	国立台北大学、文藻外語大学、静宜大学
オーストラリア	クイーンズランド大学
米国	ウィスコンシン大学 オークレア校、ミドルテネシー州立大学、ニューヨーク州立大学アルバニー校、コロラド州立大学、

	サンフランシスコ州立大学、オザークス大学、 ジョージア大学、セント・トーマス大学、ルイジアナ州立大学
カナダ	ブリティッシュコロンビア大学、マクマスター大学
ウクライナ	ウクライナ国立生命環境科学大学、 チェルニーヒウ国立工科大学、オデッサ国立環境大学
英国	グラスゴー大学、スターリング大学、ポーツマス大学、 ノーサンブリア大学、ウィンチェスター大学
オランダ	ハンザ UAS・フローニンゲン大学
スウェーデン	リンネ大学
スペイン	サラゴサ大学
スロベニア	リュブリャナ大学
セルビア	ベオグラード大学
ドイツ	ルール大学ボーフム、ハノーファー大学、 ルードヴィヒスハーフェン経済大学、 ミュンスター応用科学大学
ノルウェー	ノルウェー生命科学大学
ハンガリー	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学
ルーマニア	ブカレスト大学
ロシア	極東国立交通大学
トルコ	アンカラ大学、中東工科大学、エーゲ大学

② 海外の姉妹校 (令和7年12月末日現在)

該当なし

③ 留学・研修制度での派遣受入

国名・地域	協定先(大学名等)	人数(名)
韓国	韓国外国語大学校	4名(派遣)
韓国	中央大学校	2名(派遣)
中国	華東師範大学	9名(派遣)
中国	河北大学	4名(受入) 1名(派遣)
台湾	国立台北大学	2名(受入)
台湾	文藻外語大学	6名(受入) 1名(派遣)
台湾	靜宜大学	1名(受入) 1名(派遣)
米国	オザークス大学	2名(受入) 3名(派遣)
米国	コロラド州立大学	5名(派遣)
英国	ノーサンブリア大学	1名(受入)
英国	グラスゴー大学	1名(受入)
オランダ	ライデン大学	4名(受入)
スペイン	サラゴサ大学	1名(派遣)
ドイツ	ルール大学ボーフム	3名(受入) 1名(派遣)
ドイツ	ハノーファー大学	4名(受入)
ドイツ	ミュンスター応用科学大学	5名(受入) 1名(派遣)
ドイツ	ルードヴィヒスハーフェン経済大学	1名(受入) 1名(派遣)
ハンガリー	カーロリ・ガーシュパール・カルビン	2名(受入)

	派大学	1名（派遣）
スロベニア	リュブリャナ大学	1名（派遣）
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学	1名（受入）

- ⑤ 令和7年の上記以外のその他国際交流事業
- ・新入留学生歓迎会
 - ・外国人留学生研修旅行（山形県、立石寺など）
 - ・伊達市における、ホームステイ（伊達市国際交流協会様の協力による）
 - ・「福島わらじまつり」への参加
 - ・「ザ・まつり in 飯坂」（飯坂ロータリークラブ）への参加
 - ・Fukushima Ambassadors Program（福島の復興について、県内各地をまわる）
 - ・りんご狩りと日本文化体験ツアー（国際ソロプチミスト福島様の協力による）

⑥ 外国人教員 令和7年12月末日現在

〈教員〉専任教員224名のうち外国人教員は12名（5.4%）

外国人教員の出身国は、

韓国 3名、中国2名、バングラデシュ1名、米国1名、カナダ1名、アルゼンチン1名
ウクライナ1名、ドイツ1名、ロシア1名

(4) 日本大学工学部

① 海外の大学との協定および覚書等（令和7年12月末日現在）

国名・地域	協定先（大学名等）
米国	テキサス大学オースチン校工学部
スウェーデン	ウメヲ大学理工学部
インドネシア	ジェンデラル・スディルマン大学 バンドン工科大学 ディポネゴロ大学
インド	インド工科大学キャンプール校 インド工科大学ジョドプール校
英国	アベリストウィス大学
チェコ	チェコ科学アカデミージオニクス研究所

② 海外の姉妹校（令和7年12月末日現在）

該当なし

③ 留学・研修制度での派遣受入

国名・地域	協定先（大学名等）	人数（名）
オーストラリア	ニューカッスル大学 ※学校法人日本大学としての協定に基づく	3名（派遣）
英国	ケンブリッジ大学ペンブルックカレッジ ※学校法人日本大学としての協定に基づく	1名（派遣）

④ 令和7年度の上記以外のその他国際交流事業

該当なし

⑤ 外国人教員 令和7年12月末日現在

〈教員〉専任教員128名のうち外国人教員は、3名（2%）

外国人教員の出身国は、インドネシア2名、中国1名

(5) 東日本国際大学・いわき短期大学

① 大学間交流協定締結校

海外の大学との協定および覚書等（令和8年3月末日現在）

該当なし

② 海外の姉妹校（令和8年3月末現在）

国名・地域	協定先 (大学名等)	締結時期（和 暦）	令和7年度交流内容
米国	ハワイ州カアハイ・コミュニ ティ・カレッジ	平成23年5月	
米国	ワシントン州立大学 トライシティズ校	令和4年9月	1. 文部科学省「日米大学間復興創 生交流」の一環として、学生が福島 研修で来学し、本学と交流のほか、 廃炉研究を学ぶ (2025年7～8月) 2. 本学学生による海外研修（2026 年2～3月）
米国	コロンビアバレーン短期 大学	令和4年9月	1. 文部科学省「日米大学間復興創 生交流」の一環として、学生が福島 研修で来学し、本学と交流のほか、 廃炉研究を学ぶ (2025年7～8月) 2. 本学学生による海外研修（2026 年2～3月）
インド	O.P.ジントラル・グロ ーバル大学	令和7年6月	
英国	カンタベリー・クライスト・チャ ーチ大学		本学学生による海外研修（2026年 2～3月）
メキシコ	日本メキシコ学院（日 墨学院）	令和4年1月	
中国	曲阜師範大学	平成8年5月	
中国	中国政法大学	平成11年10月	
中国	大連民族大学	平成12年6月	
中国	安徽大学	平成12年9月	
中国	香港孔教学院	平成14年6月	
中国	瀋陽体育学院	平成14年7月	
中国	山東大学	平成23年10月	第11回日中韓国際学術シンポジウ ム参加（2025年11月）
台湾	開南大学	平成20年7月	本学学生による海外研修（2025年 8月）
韓国	成均館大学校	平成8年6月	1. 本学学生による海外研修（2025 年8月） 2. 第11回日中韓国際学術シンポジ ウム参加（2025年11月）
韓国	世京大学校	平成9年1月	
韓国	金浦大学校	平成13年10月	
韓国	慶南大学校	平成28年9月	本学学生による海外研修（2025年 8月）

③ 留学・研修制度での派遣受入

国名・地域	協定先（大学名等）	人数（名）
台湾	開南大学	1名（派遣）1名（受入）
米国	B-bridge International, Inc.	5名（派遣）

④ 令和7年度の上記以外のその他国際交流事業

- ・学校法人昌平聳といわき市が共同で開設した国連ユニタール「CIFAL ジャパン国際修セ
ンター」による第一回国際シンポジウムの開催（2025.5）
- ・東日本国際大学・福島民友新聞社共同派遣プログラム「米国シリコンバレーマインド醸成

プログラム」を実施（2025.7）

⑤ 外国人教員 令和8年3月末日現在

（教員）専任教員56名のうち、外国人教員は4名（7.1%）

外国人教員の出身国は、韓国1名、インド1名、アメリカ1名、ネパール1名

(6) 桜の聖母短期大学

① 海外の大学との協定および覚書等（令和7年12月末日現在）

該当なし

② 海外の姉妹校（令和7年12月末日現在）

国名・地域	協定先（大学名等）	締結時期（和暦）	令和7年度交流内容
米国 コネチカット州	セイクレッド・ハート大学	平成4年	—
カナダ ケベック州モン トリオール	マリアノポリス大学	平成29年	本学学生5名（引率教員2名）が当該大学において語学研修と学生との交流を行った。

③ 留学・研修制度での派遣受入

国名・地域	協定先（大学名等）	人数（名）
—	—	—

④ 令和7年度の上記以外のその他国際交流事業

該当なし

⑤ 外国人教員 令和7年12月末日現在

（教員）専任教員19名のうち外国人教員は0名（0%）

(7) 郡山女子大学

① 海外の大学との協定および覚書等（令和7年12月末日現在）

国名・地域	協定先（大学名等）	締結時期（和暦）	令和7年度交流内容
インドネシア・スマラン市	デポネゴロ大学	令和5年	学生5名がサマーコースに参加。2週間オンライン後に2週間の現地研修を終え、デポネゴロ大学で3単位を取得。本学で2単位に換算した。 デポネゴロ大学栄養学科の教員2名が本学で研修を行った。

② 海外の姉妹校（令和7年12月末日現在）

国名・地域	協定先（大学名等）	締結時期（和暦）	令和6年度交流内容
米国	ハワイ州立大学大コミュニティカレッジと姉妹校締結。	平成7年	

③ 留学・研修制度での派遣受入 ※単位認定に関わらず記入してください。

国名・地域	協定先（大学名等）	令和7年度交流内容
米国・ハワイ州	ハワイ州立大学ヒロ校	学生5名が1週間のフィールドワークに参加。本学で1単位に換算。

④ 令和7年度の上記以外のその他国際交流事業

該当なし

- ⑤ 外国人教員 令和7年12月末日現在
 〈教員〉専任教員31名のうち外国人教員は1名(3.2%)

(8) 医療創生大学

- ① 海外の大学との協定および覚書等 (令和7年12月末日現在)

国名・地域	協定先(大学名等)
シンガポール	シンガポール工科大学
マレーシア	マーサ大学
ウズベキスタン	タシケント薬科大学
インドネシア	アイシャ大学
マレーシア	トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学
マレーシア	マラ工科大学
タイ	マヒドン大学

- ② 海外の姉妹校 (令和7年12月末日現在)

該当なし

- ③ 留学・研修制度での派遣受入

国名・地域	協定先(大学名等)	人数(名)
マレーシア	トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学	16名(受入)

- ④ 令和7年度の上記以外のその他国際交流事業

該当なし

- ⑤ 外国人教員 令和7年12月末日現在

〈教員〉専任教員87名のうち外国人教員は、4名(4.5%)

外国人教員の出身国は、韓国2名、マレーシア1名、イギリス1名)

(9) 奥羽大学

- ① 国際交流協定

国名	韓国
締結先(大学名等)	慶熙大学
締結時期	1975年(昭和50年)10月
締結内容	学術交流を中心とした国際交流を行っている。大学間の友好、研究の情報交換、学生・教職員の交流を目的としている。

- ② 海外の姉妹校 (令和7年12月末日現在)

該当なし

- ③ 留学・研修制度での派遣受入

該当なし

- ④ 令和7年度以降の上記以外のその他国際交流事業

該当なし

- ⑤ 外国人教員

該当なし

(10) 福島学院大学

- ① 国際交流協定(覚書の締結)

国名	韓国
締結先(大学名等)	仁荷大学国際研究センター
締結時期	2023年(令和5年)12月6日
締結内容	相互交流、共同研究に関する覚書
国名	英国
締結先(大学名等)	ペトロック大学
締結時期	2024年(令和6年)3月21日

締結内容	交流促進に関する覚書。 相互理解、学術的、文化的、人的な交流を促進する目的で友好・協力関係を確立すべく協議を開始することに合意する。
国名	韓国
締結先（大学名等）	国立安東大学デジタル ICT 学部
締結時期	2024年（令和6年）5月17日
締結内容	相互協力（共同研究、情報共有、学生交流）に関する覚書。
国名	韓国
締結先（大学名等）	東国大学
締結時期	2024年（令和6年）5月23日
締結内容	相互協力（共同研究、情報共有、学生交流）に関する覚書。

- ② 海外の姉妹校（令和7年12月末日現在）
該当なし
- ③ 留学・研修制度での派遣受入
該当なし
- ④ 令和7年度以降の上記以外のその他国際交流事業
該当なし
- ⑤ 外国人教員
〈教員〉専任教員62名のうち外国人教員は2名（3.2%）
外国人教員の出身国は、ポーランド1名、韓国1名

(11) 福島工業高等専門学校

- ① 海外の大学との協定および覚書等（令和7年12月末日現在）

国名・地域	協定先（大学名等）
ブラジル	サンパウロ大学（サンカルロス校工学部）
メキシコ	グアナファト大学
フランス	ルアーブル大学ルアーブル技術短期大学 リール大学リールA技術短期大学 トゥール大学プロワ技術短期大学 ヴァランシエンヌ大学ヴァランシエンヌ技術短期大学 リトラルコートドパル大学リトラルコートドパル技術短期大学 アルトワ大学ベテューヌ技術短期大学 アルトワ大学ランス技術短期大学
カナダ	バンクーバーアイランド大学付属高校
中国	大連東軟信息学院、陝西工業職業技術学院
ポルトガル	ポルト工科ポリテクニク
タイ	チェンマイ大学 タイ高専（キングモンクット工科大学トンブリ校）
フィンランド	ヘルシンキメトロポリア応用科学大学、トゥルク応用科学大学
マレーシア	サバ大学

- ② 海外の姉妹校（令和7年12月末日現在）
該当なし
- ③ 留学・研修制度での派遣受入（令和8年3月末日現在）

国名・地域	協定先（大学名等）	人数（名）
フランス	ルアーブル技術短期大学	6名（派遣）
フランス	アルトワ大学ベテューヌ技術短期大学	1名（受入）
フランス	アルトワ大学ランス技術短期大学	1名（受入）

フランス	リトラルコートドパル技術短期大学	2名（受入）
フィンランド	トゥルク応用科学大学	2名（受入）
マレーシア	サバ大学	10名（派遣）
タイ	チェンマイ大学附属語学学校	15名（派遣）

④ 令和7年度の上記以外のその他国際交流事業

・長期留学生在籍状況（令和7年12月末日現在）

人数：10名

（マレーシア2名、モンゴル2名、カンボジア2名、アルジェリア1名、ジンバブエ1名、タイ1名、カメルーン1名）

・米国・B-Bridge international, Inc. と教育文化交流協定締結による派遣事業を実施

（8月にアメリカ・シリコンバレーで7名がインターンシップに参加し、3月には4名がスタディツアーに参加予定）

⑤ 外国人教員 令和7年12月末日現在

〈教員〉専任教員72名のうち外国人教員は5名（6.9%）

外国人教員の出身国は、中国1名、韓国1名、カナダ1名、台湾1名、米国1名

(12) 会津大学 短期大学部

① 海外の大学との協定および覚書等

該当なし

② 海外の姉妹校

該当なし

③ 留学・研修制度での派遣受入

該当なし

④ 令和7年度の上記以外のその他国際交流事業

該当なし

⑤ 外国人教員

〈教員〉専任教員30名のうち外国人教員は、3名（10%）

外国人教員の出身国は、マレーシア1名、韓国1名、中国1名